

② 重要文化的景観マップ

1 岐阜公園三重塔




川合玉堂の助言により位置を決め、旧長良橋の古材を利用して建築された。

2 鏡岩水源



昭和5年に建築された旧エンジン室と旧ポンプ室がある。

3 長良川の鵜飼



6隻の鵜舟が並走する鵜飼のクライマックス「総がらみ」は、この辺りで行われる。

4 鵜匠家



鵜飼家には、主屋のほか、鵜の世話や漁の運営に必要な鳥屋、水場、松小屋などが設けられている。

5 長良川の川岸の通り



人頭大以上の大きさの川原石を用いた石垣が続く独特の景観。「川まつり」や「鮎供養」など、鵜飼漁に関連が深い神明神社、人と川をつなぐ細い道「陸間」と呼ばれる鉄製の門などがある。

16 岐阜城復興天守



初代は明治43(1910)年の建築。市民の寄付により建築された。現在は2代目。

15 正法寺大仏殿(岐阜大仏)



黄檗宗の寺院。「龍大仏」と呼ばれる本尊の釈迦如来は、乾漆仏としては日本一の大きさ。



● 重要な構成要素 (建築物・道路)
 ● その他の見どころ

「長良川中流域における岐阜の文化的景観」全覧図(昼)
 奈良文化財研究所景観研究室 作成

14 旧百曲通



道三公によりつくられた金華山登城路に続く道。武家屋敷地と町場を分けた「梶川堀」が今も残っている。

13 本町通り(旧七曲通)



道三公によりつくられた金華山登城路に続く道。重要な構成要素は、料亭の「後楽荘」、斎藤家の菩提寺である常在寺、松尾芭蕉が逗留した妙照寺が建ち並び、かつての雰囲気を残している。

12 伊奈波神社



天文8(1539)年、道三公が金華山の丸山から現在地に移したと云われる。岐阜市の総氏神で旧県社。

11 伊奈波神社界隈



伊奈波神社に続き、春には枝垂桜が咲き誇る東西道路。通りの東部には、善光寺などの寺院が多く、「寺町」のような景観となっている。

10 大和町～末広町の通り



狭い道の両側に町家が建ち並ぶ。重要な構成要素は、「魅兵」の旧店舗、老舗料亭の「徳廣」がある。

9 鞆屋町～常磐町の通り(御鮎街道)



「御鮎街道」の名は、鵜飼で捕れた鮎を塩漬にし、笠松経由で江戸まで運んだことに由来する。旧紙問屋の「空穂屋」や旧松喜仏壇店(重要な構成要素)など、多くの店舗が建ち並ぶ。

6 川原町通(旧高富街道)



川湊の近くに発展した集落。かつては多くの紙問屋や材木問屋が軒を連ね、現在もその町並みが継承されている。白木の格子が続く美しい景観。

7 西材木町～久屋町の通り



川原町通と同様に多くの町家が軒を連ねる。中でも材木問屋を営んだ丹羽家(重要な構成要素)は、広大な敷地の中に主屋・土蔵3棟などを配置する。この通りも白木の格子が続く町並み。

8 長良川の特設堤



越水の危険がある時には、最上部に畳を入れる構造になっている。